

# く えんしやうにんかいき ち 苦厭上人開基の地

●所在地／中村 ●所有者／栄養寺

とよとみひでより くにまつまる  
豊臣秀頼の子・国松丸の霊を祀った碑の建っているところである。

国松丸は、大坂城落城後、京都の六条河原で殺されたといわれるが、当地の伝説では、ひそかにこの地にのがれて明音寺みょうおんじを開き苦厭上人と呼ばれたという。

ところが、じやうどほんちやうこうそうでん『浄土本朝高僧伝』によると、苦厭上人は国松丸ではなくて、その弟で、江戸にかくれ、寺に入って学問にはげみ、諸国を旅して修行するとともに、仏教を広めたといわれる。

明音寺は、後に郡中ぐんちゆう・灘町なだまちに移されて栄養寺えいようじとなった。

